和教時報

2019年７月15日（月）発行　第1951号（毎月15日発行）
発行所／〒640-8269 和歌山市小松原通3-20　和歌山県教職員組合
TEL 073-423-2261　FAX 073-436-3243　情宣部長／山口法之
1部　20円（購読料は組合費に含みます）

和教組ゆるキャラ みばん

ストップ！憲法9条改悪・辺野古新基地建設 消費税増税・原発再稼働

教育予算増額・教職員定数増 学力テスト中止・就学援助の拡充 めざそう！

7月21日 参議院選挙

投票に行って、政治をかえよう！

七月二一日投票で行われる参議院選挙は日本の未来を左右するとても大切な選挙です。安倍暴走政治にストップをかけ、平和と民主主義、国民のいのちと暮らし、子どもと教育を大切にする政治の実現をめざしましょう！

①「憲法九条を持つ国」として平和国家を継続するのか、それとも日本を「戦争をする国」にするのかが問われる選挙です。安倍内閣は、自衛隊を憲法に明記する九条改憲を強引に進めようとしています。今回の参議院選挙で改憲派が引き続き発議に必要な三分の二以上の議席を確保すれば、一気に改憲策動が加速することが予想されます。市民と野党の共闘で、改憲派議席数を三分の二未満にすることが、日本の将来にとってとても大切です。

② 国民のくらしを守る政治への転換か、一部の富裕層や大企業のための政治を続けるのかが問われる選挙です。アベノミクスは、一部の富裕層をより豊かにしただけで、「貧困と格差」をより深刻にし、さらに一〇月には消費税一〇％への増税を強行しようとしています。政府は消費税増税を「社会保障のため」と説明していますが、年金・医療・介護・生活保護などどれをみても社会保障制度は改悪の連続です。大企業・富裕層のための政治ではなく、国民のいのちや暮らしを最優先する政治への転換が強く求められています。

③ 子どもと教育を守るために、大企業の求める「人材づくり」を目的とした競争と管理の安倍「教育再生」を許すのか、それとも一人ひとりの子どもたちの成長発達を保障する教育へ転換させるかが問われる選挙です。教職員の異常な長時間勤務を解消し、子どもたちへゆきとどいた教育を進めるためには教職員の大幅増員が不可欠です。今度の参議院選挙で政治の流れを変え、教育予算の大幅増額で教職員定数増を実現しましょう！

輝いてワンショット

梅?!すっぱーっ!

（栄養職員部）

ピンのスポット 379

日本国憲法第二六条は、全ての国民に対して等しく教育を受ける権利を保障し、義務教育は無償とすることを規定しています。つまり義務教育の「無償」とは、教育を受ける権利の制度的・実質的保障のために掲げられています。しかし、現在義務教育は無償でしょうか？

確かに授業料はありませんし、教科書についても無償配布されています。でも計算ドリルなどを購入するための補助教材費や修学旅行などの校外活動費、学校給食費などは無償になっていません。

最近は市町村の努力で補助教材費や学校給食費が無償になっているところが和歌山県内でも出てきています。本来国の責任で行われるべきことなのに兵器の爆買いなど税金の使い方を考え直してほしいものです。

（N）

和歌山の魅力を再発見！

東牟婁支部　みくまの支援学校分会　栄養教諭　片山　和希

栄養職員部白浜ツアー

六月一五日（土）・一六日（日）に、栄養職員部で、田辺や白浜周辺を巡る学習＆交流のツアーを開催し、和教組からは七人、埼玉からも埼教組五人の参加がありました。

一日目は、本宮大社や白浜のとれとれ市場などを巡りました。あいにくの雨でしたが、和歌山が誇る世界遺産や食材などに触れていただくことができました。

夜は、田辺で親睦会。栄養職員部はみんな食べることが大好きなメンバーばかりです。南紀の美味しい海の幸を囲んで、普段はなかなか話せない職場での悩みなどを語り合い、楽しくて学びの多いひとときを過ごしました。埼玉チームからも、たくさんのお土産をいただきました。このように、「食」を通して全国の仲間たちとつながりを深め、高めあっていけることも栄養職員部の強みです。

二日目は、朝から田辺の紀州備長炭記念公園にて、梅収穫＆梅ジュース作り体験をしました。和歌山県民でも、田辺周辺に住んでいないとなかなか経験することがありません。和教組のメンバーも顔を輝かせながら、大粒の梅を計二kg収穫しました。梅は持ち帰って、各々で梅干し等に加工します。梅ジュース作りもよい経験になりました。

二日間で、和歌山の魅力を再発見することができました。今回の学びを、毎日の給食へと還元していきたいと思います。

全国教研がアツい！！

和教組書記次長　岩田　美和

毎年、夏休み中に全国教研が行われます。今年は滋賀県の湖東地方で八月一六～一八日に開催されます。

この全国教研には和教組から九本のレポートが出されます。

これらのレポートは昨年の「未来をひらく教育のつどい」in海草で討議され、推薦されたもので「子どもを真ん中にした授業実践」「平和と民主教育」「家庭・地域を巻き込んだ学校づくり」等々、どれもこれも魅力いっぱいです。「他の分科会も出ていて聞くことができなかった」という人はチャンス！和歌山の先生にこんな素敵な実践をする方がいる事を再発見できます。そして全国でも一押しのレポートが総揃えなので、行かなきゃ損！プレ企画では青年層を中心に前日の一五日に若者の集いがあり、アツい討論が繰り広げられ、エネルギーが充満すること間違いなし！

湖東ということで車・電車のどちらも便利です。美味しいものは…鮒ずし？バームクーヘン！？

和教組では例年よりも参加体制を厚くし、宿泊ホテルも確保しています。

当日は必ず参加券が必要です。詳細を知りたい方は、本部までお問合せの上、各支部に七月三一日までに申し込んで下さい。

みんな誘って行きましょう!!

青年部近ブロに参加して

日高支部　青年部長
川口　奈津美

六月二二・二三日に滋賀県で行われた近ブロ青年学習交流集会に参加しました。和歌山県からは五名の参加でした。

一日目は道徳について講演を聞きました。その後、校種別に分かれて、道徳の授業や評価について各校の取り組みを交流しました。夜には琵琶湖が間近に見えるテラスでBBQをし、食べて飲んでたくさんお話もしました。ちょうど花火も打ち上がり、楽しい夜を過ごしました。

二日目は、沖縄慰霊の日ということで、沖縄のことについて現状などを聞きました。分科会では、校種別でそれぞれ二つのレポート発表があり、その実践をもとにみんなで交流しました。

近ブロに参加して、校種や学校、府県は違えど、共通して感じることや悩みは同じであることが分かりました。ほっとした雰囲気の中、いろいろな交流が出来、元気のもらえる二日間になりました。

（帰りには、近くの神社や町並みを散策し、お土産もたくさん買って帰ってきました）

元気をもらった

伊都支部　紀見小分会
藤川　晶

「県母親大会」に参加して、感動したことの一番は、現地実行委員会の活動です。県母親大会開催四か月前に現地実行委員会が立ち上げられ、六月一六日当日まで、月一回の実行委員会が開かれました。実行委員として集まったメンバーは、大会成功に向けて、分科会づくりと運営、前日や当日の役割分担、宣伝活動等について、毎回全力でアイデアを出し合いました。伊都支部女性部が司会と運営を任された二つの分科会の一つ第三分科会「いま、子どもたちをとりまく環境は？」では、学童保育の指導員さん・学校の先生・退職された先生・見守り隊員さん・各種サークル会員さん等、活発に発言してくださいました。子どもたちが豊かな放課後を過ごせるよう大人が考え知恵を出し合うこと、そして、子どもたちを豊かに育んでいくためには、学校・学童・保護者・ボランティア等子どもを取り巻くそれぞれの大人が連携を取り合うことが大切と確認できました。元気をもらえました。

全体会　各地の運動交流

那須正幹氏
特別講演

第8分科会　人生百年時代を豊かに―人生を支える医療・介護は―

みんな、集まれ！

全教養護教員部近ブロ学習交流集会in和歌山

9/14

九月一四日（土）全教養護教員部の近畿ブロック学習交流集会が和歌山市（プラザホープ）で開催されます。今は当日に向け、養護部全体で協力体制をつくり、取り組み始めたところです。

当日の全体会講演では、僧侶であり、臨床心理士でもある高野山大学准教授の森崎雅好先生に『子ども心の光と影～わだかまりを少しでもほぐすためには～』と題して、現在の子どもたちの心の中の「わだかまり」に手を届かせるため、学校で私たち養護教諭がしておくべきことをお聞かせいただき、子どもの心についてゆっくり考えてみようと計画しています。

興味・関心のある方は、お近くの養護教員部の先生に声をかけてください。大歓迎いたします。

第28回　全教養護教員部
近畿ブロック学習交流集会
・・・民主的健康教育の創造を目指して・・・
2019年9月14日(土)

場　所　プラザホープ　（和歌山県勤労福祉会館）

＜日程＞

9:30	10:00	10:30	12:30	13:45	16:45
受付	開会集会	記念講演	昼食休憩 分科会打ち合わせ	分科会	

※周りに昼食店がありますので、各自でお願いします。
（会場での持ち込み飲食も可）

＜開会集会＞
＊あいさつ（現地実行委員長、現地教組、全教養護教員部）
＊基調報告（全教養護教員部近畿ブロック常任委員）

＜記念講演＞
演題：「子ども心の光と影
－わだかまりを少しでも ほぐすために ー」
講師：森崎　雅好 さん（高野山大学文学部人間学科准教授）
別科スピリチュアルケアコース主事／高野山大学密教実践センター長
・高野山真言宗僧侶・臨床心理士
・わかちあいの会和歌山「うめの花」スタッフ
・白浜レスキューネットワーク協力会員

＜参加費＞　1，500円（学生　500円）

＜参加申し込み＞　7月中旬ぐらいまでに各単組部長さんにどの分科会に参加するかお伝えして申し込んでください。

私のホットメニュー＆勝負メシ

⑦魚介類の干物

山間部でも新鮮な干物が食べられた幼少期

日高支部　寒川　幸久

私の実家は日高川の上流、日高川町（旧美山村）にあります。朝は「おかいさん（茶粥）」に魚の干物と漬け物というのが決まりでした。山間部にある実家で、毎日新鮮な干物が食べられるのは、近所の商店が毎朝、御坊の市場で仕入れを行い、昼頃になると移動販売車で回ってきてくれたからです。

干物のなかでも好きなものを三つ挙げたいと思います。

一つ目はアジの開きです。特に骨の周りの薄い膜をペリペリと剥がして、端からチビチビと食べるのが好きでした。

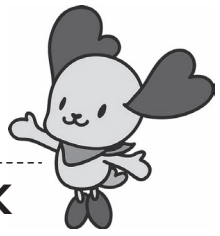
二つ目はサンマの丸干しです。それもカチカチに乾燥したものを炙り、頭を落として骨ごと丸かじりします。ひと噛みごとに溢れるうま味、文章を書いているだけでも唾液が…

三つ目はイカの一夜干しです。特に大学時代に自分で作った一夜干しは非常においしかったです。理科の教員免許を取るため、大学の授業でイカの解剖を行いました。内臓のスケッチが目的ですので、新鮮な刺身用のスルメイカイカを解剖しました。身とゲソは不要です。冷やして持ち帰り、塩もみをしたのち、料理酒で軽く塩を洗い流して干しておきました。一晩でこんなに味が濃くなるのかと驚きました。皆さんも生イカが手に入ったらお試しください。

干物と言えば皆さんむろべに泊まったことはありますか。毎回、泊まった時に楽しみなのが、朝食の干物バイキングです。いろんな種類を少しずつ試すことができるしあわせ…

今度、いつむろべ行こかなぁ…

あなたをひとりにしません
トータルサポート
和教共済WKKからのお知らせ
8月9日から8月18日まで
全教共済・和教共済の業務は、休業となります。
■事故等の場合は、
下記へ連絡して下さい。
・自動車事故等発生時の連絡先
フリーダイヤル（24時間）0120-36-7860
全教共済・和教共済WKK



おすすめします。
〝あなたにピッタリな〟
教職員のための
全教団体扱い自動車保険
引受保険会社東京海上日動火災保険株式会社
3拍子そろって頼りになります!
安心の充実補償
スリムな保険料
万全の事故対応
全教自動車保険マモルンキャンペーン実施中!!
見積り依頼をしていただきますと、ハーブ栽培キットをプレゼント!!
ご依頼お待ちしています!!
見積は下記まで
■お申し込み・お問い合せ■
和教共済WKK
〒640-8269 和歌山市小松原通3-20 教育会館1F
TEL 073-436-7860　FAX 073-436-8688